

研究背景

ポンプの課題

ポンプ動作音を持つ不快なピークが問題視され、解決すべき課題に

また個体差や音環境によっても印象は異なる

一般化された快音設計の指針が必要



研究目的

音楽等の分野で用いられる和音の理論を応用



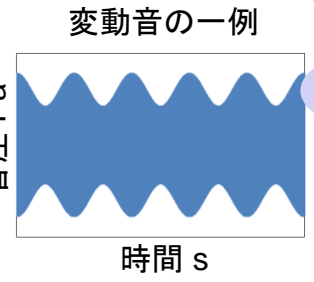
不快なピークに和音を付加し、協和感を向上させることで、**新たな音質改善の可能性を検討**

研究内容

不快感の原因把握

考慮パラメータ

- 大きさ
- 高低
- 変動
- 粗さ
- etc...



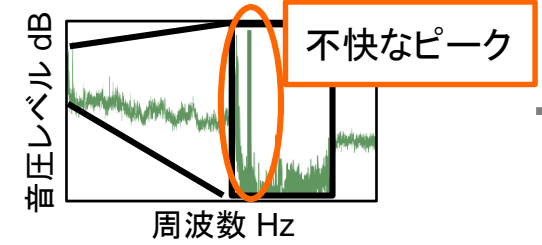
うなっている

ザラザラしている

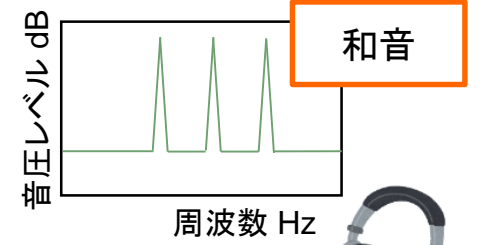
ポンプ動作音に特徴的な変動や粗さに着目し、**不快感との関係**を他パラメータと比較

和音付加に対する印象評価

①変動しないピークへの和音付加



②変動するピークへの和音付加



各条件において、和音の適切な条件を検討



協和感向上による印象の改善効果を実験的に検証